

公開講演会



喫茶の伝来から今日まで ～和文化としての茶道～

大日本茶道学会会長
田中 仙堂氏

講師紹介

東京大学大学院博士課程単位取得。公益財団法人三徳庵理事長。大日本茶道学会会長として「お茶からひろがる和の世界」を提唱し、和文化領域全般との関連性、人と人をつなげる知恵を通じて茶道への関心を広げることに尽力している。

著書に、『お茶と権力』（文春新書）、『千利休「天下一」の茶人』（宮帯出版）、『岡倉天心「茶の本」をよむ』（講談社学術文庫）、『茶の湯名言集』（角川ソフィア文庫）他多数。

講師より 喫茶習慣は、大陸から三度に渡って伝来しています。日本国内では、茶の木を栽培し、独自に製茶技術を発展させました。また、文化としての地位を確立するには、政治的な利用の歴史も無視できません。さまざまな段階を経た文化の発展史に、伝播・生産の要素も加味し、「茶道」を中心とした独自の喫茶文化が「生活文化」へと発展した過程を鳥瞰してみたいと思います。

令和4年10月1日（土） 14:00～16:00（13:30開場）

会場：国際交流留学生プラザ4階 同窓会共用室A,B,C

申込先：（社）桜蔭会（お茶の水女子大学同窓会）東京支部

〒112-0012 東京都文京区大塚 2-20-1-3階

TEL/FAX：03-5981-8026

E-Mail：ouinkai.tokyo@lion.ocn.ne.jp

オンラインでも参加できます。会場参加・オンライン参加ともに右記申し込みフォームよりお申し込みください。



申し込みフォーム

入場無料、要予約

主催：桜蔭会東京支部